

| 第1回理事会事前質問シート 回答(赤字) |     |   |
|----------------------|-----|---|
| 対象議案名                | 目的  | 発言内容(※一議案につき二つまで)   |
| 4月公開例会<br>兼古 健太      | 質問1 | 30～40代の健康に意識が低い我々世代をメインターゲットにしているが、どうやってその層に参加してもらうのですか？普通に呼びかけても興味が無きゃ来ないかと思います。<br>→菊地恭平理事からも頂いています。対応2に記載しました。協力していただいている機関の方にも参加していただくなど、草の根で参加促進を行いたいと考えています。  |
|                      | 質問2 | パネラーなのに講演会&クイズと書いてあって、実際のステージのイメージが分かりません。パネルディスカッションなんですか。講演会なんですか。パネルディスカッションなら進行MCは伊勢さんですか。<br>→講演会です。訂正しました。  |
| 4月公開例会<br>西方 太地      | 意見  | 手法における、会場内の体組成計の設置についてですが、他にも骨密度計、血管年齢測定、肺年齢測定等バリエーションを増やすことで、会場内でもより健康を意識させることが可能となります。また、周囲との話題作りにもつながるので良いかと思います。<br>→100日プロジェクトの6月のイベントにて上記のとおりバリエーションを増やしご自身の体のことを知っていただく内容を考えております。   |
| 4月公開例会<br>金山泰        | 意見  | 全体的に自分事として危機感をもつには内容がきれいすぎるような気がして知識とはなるけど行動につながらないような気がします。伊勢みずほさんの病気体験だけではなく、他の事例もいくつか入れたりしてああはなりたくないから今からしっかり健康について考えようと思えるような重たい事例も紹介すれば、より自分事として危機感をもってもらえると思います。(例えば不摂生により生活習慣病になり苦しい闘病生活の末亡くなってしまった事例などを少し生々しく金銭面や周りへの負担など)<br>→皆さんが自分ごととなるように、伊勢みずほさんや講演者の方と相談したいと思います。 |
| 4月公開例会<br>菊地恭平       | 質問1 | 30～40代の健康に意識が低い我々世代をメインターゲットにしているが、どうやってその層に参加してもらうのですか。普通に呼びかけても興味が無ければ来ないかと思います。<br>→対応2に記載しました   |
|                      | 質問2 | 議案書本文のメインターゲットが対象者としては「20～40代」とあり、第2回財政の対応16では「30～40代」、第9回正副対応2では「20代～50代」とメインターゲットが3通り出てきますが、実際どの世代ですか。3通りの記載あります。<br>→表記が揺れて申し訳ありません。20～40代をメインターゲットとさせていただきます。   |
|                      | 質問3 | 「健康意識が低さと年齢層」の相関があるのは本当でしょうか。<br>→厚生労働省「国民健康・栄養調査」によると、運動習慣のある人(30分以上、週2回以上を1年以上継続)は、20～50代では20%程度しかいません。長岡市のながおか健康ヘルシープランの規定では青年期(19～39歳)、壮年期(40～64歳)の健康意識が低いという報告がありこれをもとに設定させていただきます。  |
|                      | 質問4 | なぜ一般参加者が2,000円でメンバーが3,000円なのですか。例会を使っでの参加義務で強制徴収は止めて下さい。<br>→例会に参加費はかかりません。100日チャレンジに参加していただく方より参加費として徴収いたします。青年会議所のメンバーも参加は任意です。   |
|                      | 質問5 | ・パネラーなのに講演会&クイズと書いてあって、実際のステージのイメージが分かりません。パネルディスカッションなんですか。講演会なんですか。パネルディスカッションなら進行MCは伊勢さんですか。<br>→講演会で統一しました。   |

|       |   |
|-------|---|
| 質問 6  | <p>むしろこういう事業やイベントに興味がない人が問題なのは。<br/>→草の根で声かけをして興味を持っていただきたいと思います。</p>   |
| 質問 7  | <p>社会保障費は間違いなく上がるので、それを市としてどう補填していくか考えた方がいいのではないのでしょうか。<br/>→上記についてはすでに市の財政課が考えおります。間違いなく上がる医療費を我々が健康であることで上がらないようにしよう、自分事として考えようというのがこの度の取り組みです。</p>   |
| 質問 8  | <p>例会タイトルにある、気づきの価値をお金の数値化をイメージさせることに反対です。事業参加者は最後にいくらとわかるのでしょうか。逆に傷病を抱えている人に、あなたは〇〇万円分、社会保障費を圧迫している犯人！と認識させる弱者を追い込むことになりませんか。<br/>→傷病を抱えて苦しんでいる方へ今後もしっかりと医療費が確保できるように、健康でいられる方は健康でいようということを意識していただく事業です。</p> |
| 質問 9  | <p>50代が含まれると59歳の人まで対象者として参加する可能性があり、上記のような気づかいやクイズ問題とする必要があると思います。<br/>→50代はスマホを持ってる方は86%で40代、20代と同じ程度、60代は68.5%です。こういったイベントに参加される方はアクティブシニアが多いと考えます。また、クイズは分かりやすいものを考えます。</p>                                |
| 質問 10 | <p>例会のタイトル、気づきの価値はプライスレスとし、削減できたお金で高齢社会をいきいきといきる、こういうことができるとした方が良いような気がします。<br/>→プライスレスの方が良いという意見は委員会内でも出ました。プライスレスは価値があるという意味がありますが、無料・タダと考える方が多いとも辞書に書いてあり最終的に〇〇円とさせていただきました。</p>                           |